



スローガン「MAGIC」

▼5月24日(火)第1回生徒総会が開催されました。生徒会執行部から提案された本年度の生徒会スローガンは「MAGIC」。これにはmemory(記憶、思い)、action(行動する)grow(成長する)、idea(考え)、create(生み出す)の5つの意味があり、全校生徒156人の「MAGIC」で新たなものを創造していきたいという思いが込められているそうです。▼活動方針として、【継承の魔法】(脚下照顧、三大清掃、先言後礼等の伝統の継承)【創造の魔法】(デジタル意見箱、委員会コラボ活動等の新たな試み)【結束の魔法】(部活動の充実、陵風祭での縦横の深まり等)が示され、事前の学級討議をもとに、各班から様々な意見や質問がでました。▼総会後半は、「あいさつについて考えよう」と「市川中SNS宣言の発展に向けて考えよう」という2つの柱を基に話し合いが行われました。▼あいさつについては、「理想のあいさつとは？」



「あいさつの意義は？」という執行部からの提起に対し、「明るく、元気に、さわやかに」「相手の目を見て、気持ちを込めて」、「お互いにいい気持ちになれる」「コミュニケーションのきっかけとなる」などが、SNS利用宣言の取組としては「相手のことを考えて使用する」「個人情報が出ないようにする」「時間を決めて安全に使う」等の意見がたくさん出て、討議が盛り上がりました。▼今年度版「市川中SNS利用宣言」では、具体的な取組として「相手がいることを意識して、やりとりを22時までには心がける」としました。自分たちで考え、議論して承認した行動目標になりますので、生徒は、このことを強く意識して行動してくれるものと信じています。ご家庭におきましても、子どもと話し合った上で、一定のルールのもとに、スマートフォン等を使うとともに、SNSやゲームについても節度のある使用となるようご指導ください。



マレーシアの学校と交流

▼5月26日(木)3年生が英語の授業で、マレーシアの「Sekolah Menengah Kebangsaan Pangkalan TLDM」という国立学校の11年生(16~17歳)25名と、インターネットを使っての交流学習会をもちました。▼授業はA組・B組、それぞれ1時間ずつ行ったのですが、前もって撮影したビデオを使って、本校の学校生活の様子や市川三郷町の紹介を英語で行いました。とてもよくできたビデオで、マレーシアの生徒も興味深く見ていました。▼その後、同様にマレーシアの学校の様子をビデオで見て、相互に質問タイムをとりました。生徒たちは、緊張しながらも、しっかりとコミュニケーションをとりながら、交流を図っていました。



今後のコロナ対応について

▼文部科学省と山梨県は、夏場は熱中症の恐れが強まるとして、児童生徒に対して、**登下校時にマスクを外すよう**指導するという新たな対策を通知しました。あわせて、**体育の授業や部活動も基本的にマスクは不要**としています。▼これを受け、本校でも、十分な距離の確保や、飛沫が飛ばないように十分に注意する中で、マスクを外すように指導していきます。**プールの授業も6月27日から7月21日までの1学期間は、体育の授業で実施**していきます。▼また、5月23日に、町教委と管内校長の話し合いが行われ、**修学旅行の実施の目安**について、これまでは、**本町と旅行先の地域感染レベルが2の時は実施できなかったのですが、この項目を削除し、自治体からの移動制限が出されていないければ、実施することができるようになりました。**これは、社会全体の感染症対策への変化や校医の先生の専門的な知見を伺う中で、「感染レベル」による規制によらずとも、安全対策を万全にすることで、「子どもたちの命を守る」修学旅行の実施が可能である判断したためです。ご理解のほど、よろしくお願ひします。